

変わりました—避難情報

危機管理課・☎202247

国では、大きな被害をもたらした令和元年東日本台風などの教訓を踏まえ、災害対策基本法を改正しました。これにより『避難勧告』が廃止されました。

警戒レベル	市が発令する避難情報等	住民がとるべき行動
5	緊急安全確保	命の危険!ただちに安全確保!

警戒レベル『4』までに必ず避難をしましょう!

4	避難指示 ※1	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難 ※2	危険な場所から高齢者等は避難
2	大雨・洪水注意報(気象庁)	
1	早期注意情報(気象庁)	

※1…避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令します。

※2…高齢者等避難は、高齢者等以外の人も必要に応じて普段行っている行動を見合わせたり、危険を感じたら自主的に非難するタイミングです。

避難情報は、テレビや市ホームページなどから入手できるほか、足利市消防防災情報メールでも発信しています。さまざまな手段で情報が得られるよう、日頃から備えましょう。



お知らせ

低所得の子育て世帯への 生活支援特別給付金

児童家庭課・☎202137

新型コロナウイルス感染症の影響による、低所得の子育て世帯の収入減少への支援として、臨時特別給付金を支給します。給付額 児童1人あたり5万円
対象

▽本年4月分の児童手当または特別児童扶養手当が支給される方で、本年度分の住民税が非課税の方(7月28日(水)に児童手当を受給している口座に振込)

▽本年3月31日時点で、18歳未満の児童(障がい児の場合20歳未満)を養育する方で、本年度分の住民税が非課税または、同感染症の影響を受けて家計が急変するなど、収入が本年度住民税非課税の方と同じ水準となっている方(要申請)

申請期限 4年2月28日(月)

※すでにひとり親世帯

への給付金を受給

している方は、対象

外となります。



運転免許を自主返納した方へ 生活路線バス回数券を交付

市民生活課・☎202186

対象 ①運転免許を自主返納した65歳以上の方で②住民基本台帳に記載され市内に居住し③市税に滞納がない方

回数券 4000円分

持ち物 『申請による運転免許の取消通知書』の写しまたは『運転経歴証明書』の写し

申込 返納から1年以内に同課

推薦してください

勤労者表彰の該当者

商業振興課・☎202158

市内の産業に従事し、その振興に寄与された方を表彰します。事業所や団体などの代表者は、該当する方を推薦してください。

推薦基準 過去に国、県、市に

おいて同様の趣旨の表彰を受けた方を除き、次のいずれかに該当する方

①市内の同一事業所や団体などに24年以上勤務し、仕事ぶりが他の模範となっている方

※会場などにお越しの際は、新型コロナウイルス感染症予防対策にご協力ください。また、状況により延期や中止となる可能性があります。

ご利用ください！ 手話通訳

障がい福祉課
☎20 2169・FAX21 5404

社会福祉協議会の手話通訳者が、毎週火・金曜日の午後1時から5時まで、同課(本庁舎1階23番窓口)にいます。



※従業員10人以下の場合は、20年以上勤務する50歳以上の方も対象になります。

②市内の産業に従事しているか、事業所や団体などに勤務している、指導的立場で経営の改善、優秀な人材の育成、長年にわたる健全運営などを通じて、産業の振興に特に功績のある方

③発明、創意工夫などで産業振興に特に功績があり、他の研究機関や団体などの推薦が受けられる方

推薦方法 7月30日(金)までに内申書を同課(本庁舎別館2階) ※内申書は同課または市ホームページで入手可。



ご利用ください

市民資料室

同室・☎20 2250

本庁舎別館1階の同室では、次のことを行っていただきます。市政のご理解にご活用ください。



内容 市などが作成した資料、刊行物の販売、市が保有する行政情報・自分の個人情報、市長の資産公開

※内容により一定の条件あり。

▼**情報公開制度** 市が保有している行政情報の閲覧

※昨年度の請求は1173件で、内訳は開示1120件、部分開示14件、不存在11件、その他28件でした。

▼**個人情報保護制度** 市が保有している自分の個人情報の閲覧やその誤りの訂正

※一定の条件があります。

※昨年度の請求は23件で、内訳は開示16件、部分開示5件、不存在2件でした。

▽情報公開制度などの問い合わせ
II 情報政策課・☎20 2235

温故知新 1

故きを温ねて新しきを知る

早川 尚秀

このたびは足利市長に就任しました早川尚秀です。毎月、本コラムに日々活動をする上で感じたことや、市民の皆さまにお伝えしたいことを記していきたいと思えます。

まず、タイトルを『温故知新』といたしました。足利市は、先人たちの築いた伝統や足利らしさを重んじながら、進取の精神を忘れず、常に挑戦し、新たな価値を生み出してきたまちです。私は、長い歴史の中で育まれた有望な地域資源を最大限に活かしながら、新しい息吹を吹き込み、いい形で次代へと受け継いでいきたいと思っています。さて、5月13日に初登庁し、改めて大きな責務と使命を感じました。就任後、毎日のように行政各分野において現在取り組んでいる事業、懸案事項等について議論を重ねていますが、改めて、課題・難題が山積していることを認識しました。丁寧な

議論を心掛け、一つ一つ解決していきますように努めてまいります。

例えばコロナ関連では、就任後、ワクチン予約枠の拡大や集団接種会場までの移動支援、医師会の先生方のご協力による個別接種の実施などに取り組みできました。こうした目の前の課題にも臨機応変に対応していきたいと思えます。

同月27日には足利市議会臨時会において、市民の代表である市議会議員の皆さまへ、『所信表明』としてこれからの取り組み姿勢や具体的施策等について述べる機会をいただきました。

コロナ対策、人口減少対策、子育て・教育、産業振興、文化・スポーツ、防災、行政改革等に取り組み、市民の皆様が動いていることを実感していただけるように、一步一步前進してまいります。

これまでの県議会議員としての活動の中で経験した、『多様な意見を聴き、それらを適切な判断に活かしていく』ということを念頭に、足利に活気を取り戻し誇れるふるさとを築くために力を尽くしてまいります。